

第1回 鳥取西道路技術検討委員会概要

■日時：平成29年11月24日（金）14:30～16:30

■場所：鳥取県立生涯学習センター（県民ふれあい会館） 4階 大研修室

○ 変状経緯と現状

- ・変状経緯と状況を説明（資料1）

○ 現地踏査結果

- ・11月17日の地滑りの専門家による現地調査状況について説明（資料2）
- ・現地調査時の意見
 - ▶今回の原因は山頂部を越える深いすべり面が想定される。
 - ▶現地は複雑な地滑り面が想定されるため、追加の詳細調査が必要。
 - ▶雪解け水や雨の影響が懸念。
 - ▶現状の対策で安全な通行が確保できるか、更なる検討が必要。

○ 追加調査の方針と対策工法の検討について

- ・原因究明や対策工法の検討に向けて、追加のボーリング調査等が必要との意見があった。
- ・対策工法（案）（グラウンドアンカー再設置、頭部排土、ボックス、トンネル等）について議論がなされ、次回、検討結果を確認し、議論を行うこととなった。

○ 次回、平成29年12月下旬頃の開催予定

第1回 鳥取西道路技術検討委員会

■日時:平成29年11月24日(金)14:30~16:30

■場所:鳥取県立生涯学習センター(県民ふれあい会館) 4階 大研修室

議事次第

1, 開会

2, あいさつ

3, 議事

(1) 規約について

(2) 変状経緯と現状

(3) 現地踏査結果

(4) 追加調査の方針と対策工法の検討について

(5) その他

(6) 質疑

4, 閉会

●鳥取西道路技術検討委員会

機関・所属		役職	氏名	備考
鳥取大学		名誉教授	藤村 尚	
鳥取大学大学院	工学研究科	教授	西村 強	
鳥取大学大学院	工学研究科	准教授	中村 公一	
山口大学		名誉教授	中川 浩二	NPO 法人 臨床トンネル工学研究所 理事長
(一社) 日本建設機械施工協会	施工技術総合研究所	所長	真下 英人	
国土交通省国土技術政策総合研究所	道路構造物研究部 道路基盤研究室	室長	久保 和幸	
(国研) 土木研究所	地質・地盤研究グループ 土質・振動チーム	上席研究員	佐々木 哲也	
(国研) 土木研究所	土砂管理研究グループ 地すべりチーム	上席研究員	藤平 大	
(国研) 土木研究所	道路技術研究グループ トンネルチーム	上席研究員	砂金 伸治	

◎委員会の目的

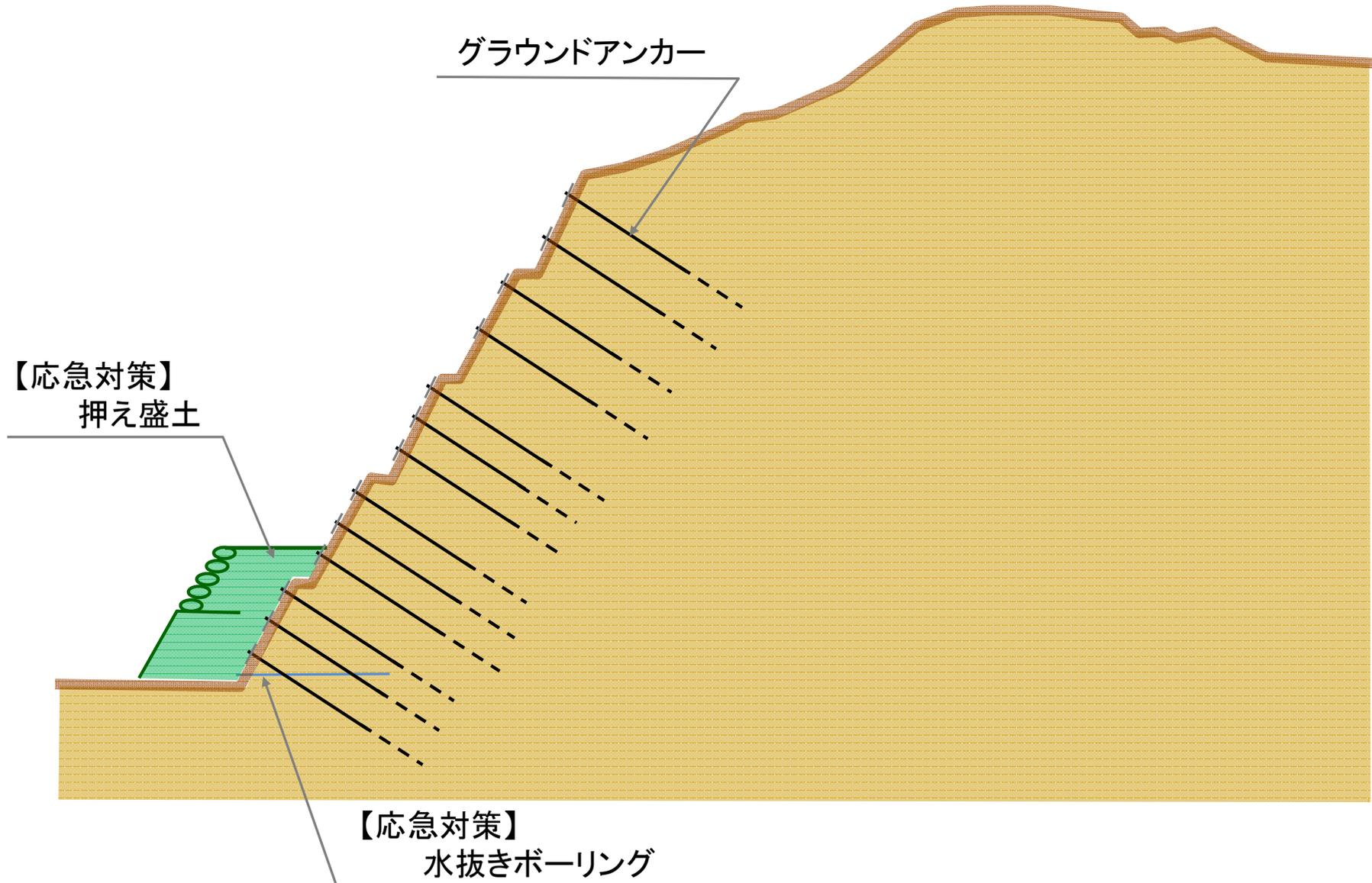
鳥取県鳥取市鹿野町乙亥正(重山地区)において道路法面を安定させるグラウンドアンカーが破損するとともに、当初の想定を越える範囲での地形変位が確認されたことから、去る11月17日に地滑りの専門家の方々による現地調査を実施し、助言を受けたところです。

今後、原因究明や対策方法などに対し、技術的な検討を行うことを目的とする。

1. 変状経緯

H29. 8.下旬	最下段切土完了
H29. 8.下旬	法面アンカーに設置している荷重計が上昇
H29. 9.18	法面アンカー破損1箇所
H29. 9.28	法面アンカー破損1箇所
H29.10. 2	法面アンカー破損2箇所
H29.10. 10頃	アンカー荷重計の上昇傾向が収束
H29.10.17	有識者(鳥取大学 藤村名誉教授)現地立会、技術相談 ⇒「応急対策として水抜きボーリングと押え盛土が有効」との指摘
H29.10.23	応急対策「追加水抜きボーリング」施工開始
H29.10.31	応急対策「追加水抜きボーリング」施工完了 応急対策「押え盛土」施工開始

【参考】 現地の状況(イメージ)



資料2

1. 専門家による現地調査(H29.11.17)



①現地確認状況



③現地踏査状況1



②対策工法「押え盛土」確認状況



④現地踏査状況2